

復旧のためにご支援いただいた全ての方々に心から感謝申し上げます

教頭便り

平成27年10月4日(日)

茨城県立鬼怒商業高等学校 教頭 宇都木 直之

平成27年9月10日(木)朝、台風18号のもたらした大雨で鬼怒川が増水。近くを流れる支流の田川の水が逆流し鬼怒商は校舎3棟、体育館、武道場、合宿所、グラウンドがおよそ2メートルの水につかりました。幸い翌日には水は引いたものの、校舎の1階にあったものは全て使用不能となりました。



電気や水が使えない中、手探りの復旧作業が始まりました。本格的には9月14日(月)から排水作業、荷物の運び出し、廃棄・運搬、書類干し、壁・床の清掃などを順次行いましたが、連日150名近くの運動部を中心とした生徒たちが黙々と一緒に作業してくれました。大人だけでは恐らく倍以上の時間がかかったであろう片づけをほぼ3日で目途をつけることができました。大変ありがたかったです。本当に若者のパワーはすごいと思いました。また、この間地域や関係者をはじめ様々な方々から温かいお心遣いをたくさんいただきました。3年生の就職指導のために結城二高さんの合宿所をお借りしたり、竜ヶ崎二高さんからはタオルやぞうきんを段ボール17箱分もいただきました。卒業生の皆さんも手伝いに来てくれたりボランティアの申し入れの電話などもたくさんいただき(PTAをはじめ保護者の方々からもいただきました)、また軽トラック4台、大型トラックを2台も貸し出して下さりその威力の大きさに頭が下がる思いでした。本当に助かりました。心強かったです。その他にも数えきれない程たくさんのご援助や差し入れなどをいただきました。ご支援下さった全ての方々に心から感謝申し上げます。

大勢の方々からの復興の期待に応えるべく本校は9月24日(木)に学校を再開しました。現在は災害前よりもより一層強い気持ちで生徒・教職員一同、授業や部活動、検定試験合格に向けて奮闘・努力を重ねております。被災により様々な不自由や不便が生じ、また今後も新たな問題が発生してくるかも知れませんが、こんな時だからこそ生徒や保護者の皆さん、そして見守って下さる地域の方々と力を合わせて教職員一同この艱難を必ずや乗り越えたいと決意を新たにします。



鬼怒商はこれくらいのことではびくともしない、という姿をこれからも勉強や部活動、その他あらゆる場面でお見せできるよう頑張っております。今後も変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

